

2024 年 7 月 30 日
株式会社 PR TIMES

ホークスファンの声を選手に伝える広告〈2024 シーズンラスト〉

8 文字でネクストバッタースサークルに掲載する応援メッセージ募集

- 福岡県在住ホークスファン歴 20 年のマキさんのメッセージ“ちかっぱ打とう！”が 8 月のメッセージに決定！
第 4 弾 9 月分は 8 月 4 日（日）まで -



写真提供：福岡ソフトバンクホークス | 7 月 4 日（木）より掲出されている第 2 弾応援メッセージ広告（福岡県在住ホークスファンのマキさんのメッセージ）

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム：3922）は、2024 年の福岡ソフトバンクホークスオフィシャルスポンサーに就任し、球団本拠地であるみずほ PayPay ドームのネクストバッタースサークルへファンから募集した応援メッセージを掲出いたします。球団として初となるネクストバッタースサークルへ掲出する企業広告のスペースを活用し、ファンの皆様の応援を選手へお届けする本施策は、今回で 4 回目の募集となります。

第 3 弾のメッセージは、ホークスファン歴 20 年のマキさん応募の「ちかっぱ打とう！」に決定し、8 月 10 日（土）から掲出開始いたします。

第 4 弾応募フォーム <https://tayori.com/f/hawks-message-004/>

8 月は「ちかっぱ打とう！」に決定。9 月テーマは 1 年の最後に伝えたいこと

第 3 弾（応募期間：6 月 18 日～6 月 30 日）に募集した応援メッセージは、福岡県および九州地方からを中心に 471 件の応募をいただきました。8 月からのネクストバッタースサークルへは、「ちかっぱ打とう！」と地元福岡の方言を交えたメッセージを球団に選定いただきました。

そして、7 月 26 日からは 9 月に掲出する応援メッセージの募集を開始しました。今回のメッセージで 2024 年シーズンに掲出するメッセージはラストになります。1 年の最後に選手たちに伝えたいことをテーマに応援メッセージをお待ちしています。

また、今回までで集まったメッセージは全て福岡市内の駅等の広告でご紹介する予定で、詳細については追って当社プレスリリース等でお知らせします。（広告規定等で掲出が不可能なものを除く）



8月10日（土）みずほ PayPay ドーム開催試合から掲出開始「ちかっぱ打とう！」

7月からの応援メッセージに決定した「一打に鷹波乗せろ」が書かれたネクストバッターズサークルは、8月10日（土）にホークス本拠地みずほ PayPay ドームで開催される東北楽天ゴールデンイーグルス戦より掲出開始となります（9月12日までの12試合で掲出される予定です）。ホークス選手の皆さんの一打が熱い夏を吹き飛ばす波となることを期待しながら、現地で応援にお越しいただきご覧いただけると幸いです。



第1弾のメッセージ（提供：福岡ソフトバンクホークス）



第2弾のメッセージ（提供：福岡ソフトバンクホークス）

第4回「福岡ネクストバッターズサークルで伝える応援メッセージ」応募概要

応募期間：2024年7月26日（金）～2024年8月4日（日）

掲載日程：2024年9月中旬～2024年10月上旬（予定）

鷹祭 SUMMER BOOST 等のイベントデーは、別途専用のデザインのネクストバッターズサークルが使用されます。

掲載箇所：みずほ PayPay ドーム内1塁ホーム側ネクストバッターズサークル

募集概要：8文字以内で福岡ソフトバンクホークスを応援するメッセージ

テーマは8文字で振り絞る鷹魂。8文字にこだわり込めたメッセージをご応募ください。

※応援メッセージは基本的に上下2段に構成されます

特定選手の応援や順位にまつわるメッセージはご遠慮ください。

決定する応援メッセージは月ごとに1つまでとなります。

1人で応募いただける応援メッセージは月ごとに1つまでとなります。

応募方法：応募フォームより期間内にお申し込みください。

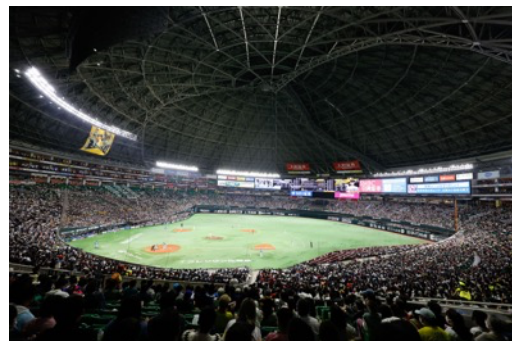
第4弾応募フォーム <https://tayori.com/f/hawks-message-004/>



ホークスのオフィシャルスポンサーとしての広告枠にファンのメッセージを掲出

2024年よりPR TIMESは福岡ソフトバンクホークスのオフィシャルスポンサーに就任しました。球団本拠地であるみずほ PayPay ドームのネクストバッターズサークルに当社広告を掲出機会をいただき、今年6月以降にその枠に掲載するファンのメッセージを募集しました。

チームの勝利を信じ、応援を続けるファンの応援が、選手にリアルに届くという体験をPR TIMESが実現しようとする取り組みを開始しました。当社は、熱量高く発信された思いはきっと大切な人に届き、その人の感情を揺さぶることができると信じています。応援の気持ちを発信し、それが直接選手に届き、勝利に貢献する。地元のチームを愛し、地元を盛り上げたいと考える地域の方々に“発信する力”が持つ可能性をリアルに感じていただけたらと考えています。



当社は 2024 年シーズン、福岡ソフトバンクホークスに加え、北海道日本ハムファイターズのオフィシャルスポンサーに、阪神タイガースのサポートカンパニーに就任しています。プロ野球チームは北海道から福岡まで 12 球団が全国各地に本拠地を置き、地域に根差した熱量高い地元のファンを多く抱えます。特に福岡ソフトバンクホークスは、パ・リーグ球団で最多の総会員数約 70 万人を誇り、その有料会員の内の 50.1%が福岡県居住者であり、地域内外から支持される球団です。福岡ソフトバンクホークスのオフィシャルスポンサー就任と今回の施策を通じて、地元の方々に PR の持つ可能性と併せて当社について知っていただける機会となることを期待しています。

株式会社 PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「**行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ**」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PR の民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業社数は 9 万 7000 社を超え、国内上場企業の 58% 超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者 2 万 6000 人超、サイトアクセス数は 月間約 9000 万 PV、プレスリリース件数は 月間 3 万 4000 件超、累計で 100 万件を超えています。全国紙 WEB サイト等含むパートナーメディア 250 媒体以上にコンテンツを掲載しています（2024 年 5 月時点）。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR 活動の設計から実行まで伴走する PR パートナー事業、アート特化型の PR プラットフォーム「MARPH」、「isuta」「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支える タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行える カスタマーサポートツール「Tayori」 など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社グルコース、SNS マーケティング支援の株式会社 NAVICUS があります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

PR TIMES

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES （東証プライム 証券コード：3922）

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005 年 12 月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>) の運営
 - ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」(<https://prtimes.jp/story/>) の運営
 - クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
 - 動画 PR サービス「PR TIMES TV」(<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
 - アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」(<https://marph.com/>) の運営
 - カスタマーサポートツール「Tayori」(<https://tayori.com/>) の運営
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>) の運営
 - 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」(<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
 - プレスリリース専用エディター「PR Editor」(<https://preditor.prtimes.com/>) の運営
 - Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>